

平成九年度 駒沢短期大学仏教科彙報

*今回は原則として平成八年度を主とする

◇平成八年度 短大仏教科開講科目

基礎仏教学

袴谷 憲昭

仏教の基礎としての仏教聖典について、
 パーリ三蔵、漢訳大蔵経、チベット大蔵
 経を中心に説明後、インド仏教の思想的
 特質を概説すると共に、仏教の基本的思
 想を若干取り上げて考察。

坐 禅

角田 泰隆

前半は只管打坐、後半は坐禅に関する両
 祖の撰述の提唱。提唱は、前期が『正法
 眼蔵』『坐禅儀』。後期が『普勸坐禅儀』。
 宗学研究 角田 泰隆

前期は曹洞宗について概説、後期は両祖

(道元禅師・瑩山禅師)の伝記をたどり

ながら、その基本的な教義について講義。

禅学研究

奥野 光賢

前期は「禅」や「禅定」「禅宗」といった
 言葉の意味や禅宗史の概説。後期は『六
 祖壇経』を講読しながら、近年の禅思想
 に対する批判的研究を紹介して、禅思想
 のもつ思想的意味について概説した。

仏典研究Ⅰ 木村 誠司

*Tatvasangraha*等をテキストとして、一
 切智者やヨーガ行者の知を考察した。

仏典研究Ⅱ 石井 公成

經典そのものと中国仏教の經典解釈との
 違いに留意しながら『華嚴経』の要所と
 法蔵『華嚴経旨帰』を講読。

仏典研究Ⅲ 袴谷 憲昭

法然の『選択本願念仏集』の講読を通し
 て、日本仏教思想史における法然の浄土
 思想の特質を研究した。

仏教思想演習 袴谷 憲昭

善導の『観経疏』『散善義』を講読演習す

ることによって、法然や親鸞の源流とも
 いうべき善導の浄土思想を考察した。

インド・チベット仏教演習 木村 誠司

近代の中観派に関する研究論文を読み、
 その問題点を考察した。

中国仏教演習 奥野 光賢

吉蔵『三論玄義』と凝然『八宗綱要』『三
 論宗』の項をテキストとして、三論宗の
 歴史と教理を演習形式で概説。

仏教文学演習 石井 公成

『日本靈異記』を中心としつつ、印度・
 中国・新羅・日本の仏教説話などを講読。
 日用經典概説 角田 泰隆

前期は、仏教教理史を概説しながら經典
 の成立や伝播等を講義。後期は、曹洞宗
 において日頃誦読している經典(教典)・
 語録等を演習。

インド仏教史 木村 誠司

シチュエルバッキー (Stcherbatsky) の
*Buddhist Logic*を中心に、論理学とい
 う面から、インド仏教史をながめた。

中国仏教史 奥野 光賢

中国仏教の形成過程を主として教理に力
 点をおいて概説。

日本仏教史 袴谷 憲昭

Intellectual History of Buddhism in Japanという観点から、日本の仏教思想を史的に概観する一方で、法然と明恵との思想的差異に注目して日本におけるその両系統の思考の相違を考察した。

中国禅宗史 石井 公成
敦煌禅文献発見の意義に注意しつつ、禅宗の成立過程を検討し、周辺学派との交渉や禅宗の独自さについて講義。

日本禅宗史 角田 泰隆
前期は、禅の流れおよび禅思想の特徴を概説。後期はこれを踏まえて日本の禅宗の歴史と思想を講義。

仏教語解説 木村 誠司
インド・中国・日本の代表的仏典を読み、仏教語に触れた。

仏教と文化 奥野 光賢
『法華経』に見られるいわゆる「法華七喩」の原文講読と解説。

外国語仏書演習 袴谷 憲昭
Julian Pas, *Visions of Sukhāvati*, Chap. 5 “The Human Situation Ver- sus Armita and His Land of Purity”を講読演習。

中国古典語 石井 公成

文法の基礎を押えつつ、『老子』『莊子』『易』の要文と注釈を講読。
仏教伝道 角田 泰隆

前期は、釈尊の伝記を学びながら仏教伝道の基本的あり方について考え、後期は、宗門寺院における伝道の具体相について、その意義と実践を概説。

仏教演習 大西 龍峯
禅学演習 伊藤 秀憲
仏教と現代 峰岸 孝哉
宗教哲学 紺野 馨
キリスト教概説 紺野 馨
書道 野村 宙弘

◇他学部他学科出講科目

〔大学院〕

修士課程・仏教学特講II 石井 公成
敦煌出土の地論宗文献をとりあげ、慧遠など従来知られていた地論宗の教学や、天台宗・華嚴宗・禅宗などとの関係を明らかにしつつ講読。

〔仏教学部〕
日本仏教文化史 袴谷 憲昭
事実として日本にあった仏教文化がどの

ようなものであったかと見るのではなく、仏教の思想がどのように変容して日本において仏教文化として受容されるようになったかを考察した。その研究対象として、特に『国体の本義』（文部省、昭和十二年刊）を取り上げて講読した。

中国古典語初級 石井 公成
文法の基礎を押えつつ、『老子』『莊子』『易』の要文と注釈を講読。

チベット仏教史 木村 誠司
チベット仏教の流れを概観し、特にサムエの宗論・他空説・ツォンカパの思想に焦点を当て、チベット仏教の本質について考察した。

チベット語上級
ツォンカパ (Tsong kha pa) 著『ラムリム』(Lam rim) を講読した。

〔短期大学〕
仏教と人間 石井 公成
古代の呪術的信仰が現代人のうちにも生きていくことに注意しつつ、世界の宗教と仏教について概説。

仏教と人間 袴谷 憲昭
前期には、デカルトを中心に、子供ではない人間（大人）の特質を考え、その中

で西欧に育った平等とはどのような思想であるのかを押さえた上で、後期には、法然と明恵を対比させることによって、仏教の平等観を考えてみた。

仏教と人間

奥野 光賢

松本史朗著『仏教への道』を教科書として、仏教の基本的教義の概説。

仏教と人間

木村 誠司

仏教の歴史を巡り、様々な仏典を紹介・解説した。

仏教と人間

(前期・放射線科) 角田 泰隆

仏教の基本的な教義について解説。便宜的に、「人間」「自己」「現在」「教育」「生死」の五つの言葉を順次取りあげ、これらと関係させながら講義。

日本仏教史(前期・国文科)

石井 公成

開講せず。

◇教員研究活動

石井 公成

〔論文〕

「遺髪を入れた筈―『日本霊異記』中巻

第三縁の再検討―」(『駒澤短期大学仏教

論集』第二号、一九九六・十)

〔発表〕

「無相戒の源流」(第四十七回日本印度学
仏教学会学術大会、一九九六年九月、於
立正大学)

〔講演〕

「朝鮮の仏教」(平成八年度駒澤大学秋季
公開講座「日本仏教の源流をたずねて」、
一九九六年十一月)

袴谷 憲昭

〔論文〕

「顕密体制論と正統異端の問題」(『駒澤短
期大学仏教論集』第二号、一九九六・十)
「成仏ノート」(『駒澤短期大学仏教論集』
第二号、一九九六・十)

「同時代批判」(『駒澤短期大学仏教論集』
第二号、一九九六・十)

「仏教の正統と異端」(『祝禱文化講演集』
第八輯、一九九六・十二)

「悪業払拭の儀式関連経典雑考(VII)」(『駒
澤短期大学研究紀要』第二五号、一九九
七・三)

〔書評〕

「吉本隆明・梅原猛・中沢新一著『日本
人は思想したか』」(『駒澤短期大学仏教論

集』第二号、一九九六・十)

「ヨースタイン・ゴルデル著・池田香代
子訳『ソフィーの世界』」(『駒澤短期大学
仏教論集』第二号、一九九六・十)

〔虚構〕

「樹上の仏陀(二)」(『駒澤短期大学仏教
論集』第二号、一九九六・十)

「二つの夢―古代から中世への日本仏教
―」(平成九年度駒澤大学春季公開講座
『日本仏教のゆくえ』、一九九七年五月)

奥野 光賢

〔論文〕

「最澄撰とされる『三平等義』について」
(『宗教学論集』第一九輯、一九九六・七)
「吉蔵撰『維摩経遊意』について―その
割注をめぐって―」(『駒澤短期大学仏教
論集』第二号、一九九六・十)

「天台教学と『法華論』―吉蔵との比較
において―」(天台大師千四百年遠忌記念
出版『天台大師研究』所収、天台学会、
一九九七・三)

〔共著〕

「般若・中観思想の受容と変容」(高崎直

道編『仏教の東漸—東アジアの仏教思想 I』春秋社、一九九七・二、仏教学部教授伊藤藤隆寿氏と分担執筆)

〔書評〕

「石井公成著『華嚴思想の研究』」(『駒澤短期大学仏教論集』第二号、一九九六・十)

〔出張〕

第四十七回日本印度学仏教学会学術大会 (一九九六年九月五・六日、於立正大学) 平成八年度日本仏教学会学術大会 (一九九六年十月十二・三日、於名古屋大学)

木村 誠司

〔論文〕

「チベット仏教における『プラマーナの定義』」(『駒澤短期大学仏教論集』第二号、一九九六・十)

「ダルモツタラにおけるプラマーナの定義」(『駒澤短期大学研究紀要』第二五号、一九九七・三)

角田 泰隆

〔論文〕

「道元禅師の言語表現—絶対同一—」(『駒澤短期大学仏教論集』第二号、一九九六・十)

澤短期大学仏教論集』第二号、一九九六・十)

「学会動向 最近の道元禅師研究」(『駒澤短期大学仏教論集』第二号、一九九六・十)

「『御遺言記録』の構成について」(『宗学研究』第三九号、一九九七・三)

「多子塔前付法説と靈山付法説—如浄・道元・瑩山、三禅師の立場—」(『駒澤短期大学研究紀要』第二五号、一九九七・三)

「御遺言記録」の構成について」(第四二回宗学大会、一九九六年十一月二十日、於駒澤大学)

〔出張〕

第四十七回日本印度学仏教学会学術大会 (一九九六年九月五・六日、於立正大学)

◇諸係担当 (平成九年度)

短期大学仏教科主任 石井 公成

○学内諸係

全学教授会委員 石井 公成
自己点検・評価実施委員 石井 公成
体育審議会委員 木村 誠司

図書館委員 袴谷 憲昭
図書館選定委員 袴谷 憲昭
紀要編集委員 袴谷 憲昭

宗教教育運営委員 奥野 光賢
駒澤大学百周年記念奨学生選考委員 角田 泰隆

駒澤大学情報基盤整備検討委員会委員 石井 公成

総合情報システム委員会委員 石井 公成

○学科内諸係

自己点検・評価実施委員 専任教員全員
論集編集委員 袴谷 憲昭
会計・庶務 奥野 光賢

◇研究テーマ提出者 (平成九年度)

仏教科一年

越後屋正行「仏教における「苦」について—時代と心理学的見地から—」

櫻庭 恒「曹洞宗における葬儀の意義と受戒について」

須賀 晶俊「『選択本願念仏集』に引用された『観経疏』について」

布川 浩久「般若心経の研究」

門脇 正宏「瑩山禪師の研究―その人間像と曹洞宗教団史における位置―」

池田 秀真「道安の伝記と思想」

尖 廣仲「曹洞宗の僧侶分限制度に関する考察」

渡辺 孝顕「仏教と差別思想について」

白石 幸子「戦国女性の法名と宗教の関連性」

木崎 郁夫「道元禪の現代的意義―未来への可能性―」

小池 昌慈「現代における仏教の必要性」

木村 忠行「道元禪師の研究」

岡本 勇樹「道元の十二巻本『正法眼蔵』について」

松樹 泰弘「釈尊伝の研究」

高橋 浩紀「『妙法蓮華経』「観世音菩薩普門品」偈について」

清水 規人「輪廻説について」

鈴木 宏明「アジア諸国の無常観―その形成と変化―」

辻 貴道「日常仏教語の用法とその語源について」

森山 貴寛「鈴木正三の研究―仁王禪の生まれた背景とその特徴―」

市川 真大「曹洞宗における食事作法」

鷲峰 正也「日本仏教史における曹洞宗の位置」

曾根 達也「曹洞宗の諸行持とその法式について」

加藤智恵美「医療現場での仏教の影響」

関根 隆法「曹洞宗における法階と僧階について」

小池 尚康「輪廻思想の形成」

田原 慶隆「釈尊の出家をめぐる諸説」

金子 光則「曹洞宗における教師資格制度の批判的研究」

伊藤 宗孝「『般若心経』の思想構造とその実践」

田村 亮太「日本人の宗教観」

山田マサ子「道元禪師と大愚良寛」

仏教科二年

鎌谷 大心「現代日本における仏教思想の一考察」

飯泉 智也「インド文化における仏教の意義」

宮本 一暁「日本における仏教の思想と習慣について」

上野 文朋「漢訳仏典とインド仏教原典との比較からみた仏教思想」

坂野 宜照「『正法眼蔵隨聞記』にみられる道元禪師像」

西川 擁「曹洞宗と道元禪師―その誕生と生涯について」

原田 昌徳「舍利札文について」

葛 法雄「『仏遺教経』について」

石井 秀徳「非思量について―坐禅における心の調え方―」

原 正法「日本における仏教思想と仏教教団の役割について」

北見 浩志「法然『選択本願念仏集』と明恵『摧邪輪』の比較研究」

竹内 齊恭「十三仏の民間信仰について」

白石 敏子「仏教と女性」

本庄 宗通「般若心経の解釈研究」

豊田 隆道「身近な仏教語―本来の意味と現代的用法」

伊藤 太祐「現代日本人の宗教意識」

三浦 信高「仏教における先祖供養について」

永島 昌英「曹洞宗における清規について」

山岡 琢磨「仏教と諸宗教の教義の比較研究」

武田 宗憲「修証義について」

の特質」

渡辺 孝明 「釈尊の悟りについて」

藤澤 弘賢 「仏の世界の階級とそれぞれの働き」

中村 文亮 「煩惱について」

村上 雪岳 「仏教と諸宗教の比較的研究」

小野 正美 「法華七喻について」

楠 尚賢 「仏陀の教えと弟子達」

小笠原信隆 「仏教の言葉について」

上山 俊哉 「法然と道元との比較からみた曹洞宗学の特質」

曹洞宗学の特質」

金田 文文 「仏教と差別—差別戒名を中心として—」

藤田 郁雄 「甘露門について」

熊倉 大輔 「般若心経の研究」

藤澤 千里 「只管打坐の精神」

入野田宗孝 「悪人正因説と悪人正機説について」

瀧澤 貴祥 「戒律の研究」

福田 秀峰 「戦国時代における仏教」

廣嶋 満 「仏教と人権—差別の歴史—」

服部 信夫 「日本の浄土思想の歴史的発展について」

津島 孝広 「日本国家と仏教」

高橋 学 「仏教と老荘思想」

木村 和孝 「仏教思想からみた輪廻転生の問題点」

岩澤 純代 「仏教と輪廻について」

福原 英信 「曹洞宗日用經典の研究—般若心経を中心として—」

松本 透 「戒律について」

中山 規雄 「法華経について」

中園 孝司 「とげぬき地藏について」

鳥居 泰彦 「現代日本人の仏教観について」

清野 良和 「明峰素哲禅師の生涯について」

藤井 貫之 「釈尊とその思想の伝播—釈尊が現代に伝えたもの—」

が現代に伝えたもの—」

◇平成九年度短大仏教科在学生

(平成九年六月一日現在)

仏教科一年

山岸 一仁 越後屋正行

櫻庭 恒 宮田 任宏

須賀 晶俊 布川 浩久

門脇 正宏 坂野 英範

池田 秀真 鈴木 貴清

本田 和也 尖 廣仲

渡邊 孝顕 白石 幸子

三上 陽平 村上 行一

前原 昭彦 木崎 郁夫

松野 利行 小池 昌慈

三橋 誠 越賀 修司

庄司 行正 木村 忠行

岡本 勇樹 松樹 泰弘

鈴木 信亮 角山 祥浩

高橋 浩紀 清水 規人

中井 啓香 三浦 亮

鈴木 宏明 辻 貴道

竹内 信吾 森山 貴寛

三輪 宗俊 市川 真大

鷲峰 正也 渡邊 将則

小寺 健一 津戸 俊一

曾根 達也 加藤智恵美

関根 隆法 小池 尚康

田村 好清 田原 慶隆

金子 光則 伊藤 宗孝

渡邊 正規 田村 亮太

山田マサ子

仏教科二年

鎌谷 大心 近藤 弘衣

飯泉 智也 宮本 一暎

松野 泰弘 上野 文朋

坂野 宜照 西川 擁

清野	中園	小宮	松本	矢吹	木村	津島	廣嶋	福田	入野田	太田	藤田	上山	楠	村上	藤澤	中村	山岡	古川	伊藤	本庄	竹内	原	石井	原田
良和	孝司	良介	透	真弓	和孝	孝広	満	秀峰	宗孝	善信	郁雄	俊哉	尚賢	雪岳	弘賢	豪志	琢磨	道弘	太祐	宗通	齊恭	正法	秀徳	昌徳
西川	鳥居	中山	小椋	福原	岩澤	高橋	服部	金子	瀧澤	藤澤	熊倉	金田	小笠原	小野	中村	渡邊	武田	永島	三浦	豊田	白石	北見	小林	葛
英範	泰彦	規雄	周	英真	純代	学	信夫	宗憲	貴祥	千里	大輔	文丈	信隆	正美	文亮	孝明	宗憲	昌英	信高	隆道	敏子	浩志	一成	法雄

藤井	岡田	酒井	米田	富田
貫之	敬章	泰寛	大器	泰俊
奥山	阿部	福田	谷津	朝倉
真行	弘雄	広一	俊法	勇人